



休日 日曜 祭日
一月五回 二回五回
郵税十五銭 二部二回
場所指定 印刷部 印刷部
発行金 印刷部 印刷部
発行所 印刷部 印刷部
平野町 印刷部 印刷部
新川町 印刷部 印刷部

平町外二ヶ村の 水害豫防組合解散 新川縣費支辨で存続の要なく 来る四月の候に祝賀會

平町及び内郷、飯野三ヶ町村
から成る水害豫防組合は去る
大正二年の創設で爾來新川の
治水事業に約二十六萬圓(内
縣費補助七萬圓)を注ぎ一反
歩當り四十二圓に達する關係
を以て過去に於ても之れ
を過重と認め過般いよ、縣
費支辨川になつたので同組合
存続の必要なく本月中に組合
會を開いて大議員の決算を行

斯様な譯で延びる 鮫川江の復活工事

灌漑關係地が望む二つの主張 来る十一月促進の委員會

石城郡鮫川水利の復活工事は
上流の取入口から工事設計の
出來たものに順じて漸次工事
を進め様とする縣の計議に對
して下流灌漑關係側に全線一
齋の着工を望むものがあるが
鮫川江の復活工事設計に約四萬
圓ほどの工程區域が出来てあ
るに拘はらず着手を遅延して
ゐるの右に對して来る十一
月午後一時から平町團務事務
所に同工事の委員會を開き施
行促進の協議をなす筈である
が前記に於ける縣の計議は成
るべく早く復舊を完成させ様
とする漸進的の便をとつたも

また無理のない望みと見られ
て居る以上の小對立が工事施
行資金の起債七萬七千四百圓
の決定をも保留されてゐるも
のであつて今回の委員會が其
れをどう妥協されるか徒らに
紛議せば復活の着工はまだま
だ遲延するらしく此の妥協が
ついでに之れから工事着手さ
れるとしても本年度は精々二萬
圓位の工事で終らねばならぬ
だらうと云はれてゐるが同工
事の本年度豫算は九萬六千九
百五十七圓であつた

四ヶ町村ニラ組合ひ 日立管收稅歩合決定 縣の決定三千三十圓に對する 平と湯本、赤井、好間村

平町及び好間、赤井、湯本四
ヶ町村に協定を要する日立電
力會社昭和六年四月から九月
に至る事業年度後期分の營業
収益額は縣の決定三千三十
五圓で此の際加税額を如何
なる歩合に分すべきかを予ね
て打合せられてゐたが赤井村
と湯本町の對立主張がある爲
め今八日午前十時から平町後
場に右関係町村を會して若し
協定の案はざる場合は知事の
決定を受ける最後の協議を結
ぶ所あり平町及び好間村の仲
裁案である

平新豫算の 内示會

来る十九日頃本會
召集は廿五日頃か
を標準とする總歩合の結果が
赤井千分の二九三、好間一
二四、湯本同三九二、平町二
三二で大体に於て歩合の變り
を見ない前期豫算額二千五百九
十五圓八十四銭は
赤井七九九圓四五銭、好間
三三二圓七八銭、湯本九〇
九圓九九銭、平五五三圓六

眞に窮を訴ふる 農民の血の叫び

福島市の縣下農民大會から

福島市公會堂に開かれた縣下
農民大會の主催側にある本縣
町村長會長青沼平町長は昨七
日午後六時歸平して飽くまで
吾れ等の要求を貫徹せねばな
らぬと同大會による閉い結東
と其の決意を語るころあつた
たが同日今八日午前五時半
際發上り列車で上京帝國都の市
役所會議室に全國各府縣から
參集する百餘名の代表者との
て更に會議を行ひ關係各省
に陳情をなす筈であるが青沼
町長は明九日朝平着の急行で
歸平する豫定である

土木委員の 區長會

明九日區道補裝に
關し平町に於て
平町では區道補裝をいよ、
明年度に於て施行の計議をす
ゝめてゐるが右に對して明九
日沿線關係行政區長會を午後
一時から町後場に開催される
が同會には土木委員會も合
せて行ふことになつた

白井博之氏

白井博之氏は
我が建國の精神を明德にし之
を永遠に遵行して謬なからし
むるには須らく古今に通じし
維新の英斷の如き、何れも皆
我れ等祖先が克く大業を遂順
し達果敢、斷じて之を行ひ
し努力の結果にあらざるはな
し、今や帝國内外多事、右傾
等の資務洵に重大なり、我れ
等が忠實勇武國を愛し、公に殉
じ時勢を洞察して其宜しきを
制したるに由る、儒教佛教耶
蘇教の傳來に對する態度の如
き元々この役に於ける舉國一
せざるべからず、

養蠶經營の 座談會

石城郡三ヶ所
平町の營業取締支所では過般
縣廳に開かれた支所長會議の
盤索對策に基づき管内一般營
業に其の趣旨を徹底せしむべ
く縣廳系統から赤澤、永井兩
技師の應援出張を受け石城郡
左記三ヶ所に於て養蠶實行組
合關係者を召集養蠶經營座談
會を開す
明九日植田町に於て
十日
澤渡村 十一日平町

新學年の御用意

學生用 **ランドセル** (三十種)
小學生用 **手提カバン** (三十種)
女學生用

マルトモ柴田書店 電話 三五九七番

時は地方政治界に飛ぶ鳥を
落すほどの勢力であつた白井
博之氏は同銀行破産後石城郡
小川村の自宅に閉居してゐた
一昨年腸炎血を起し爾來健康
勝れざる爲め東京市東野の別
邸に療養中であつたが昨七日
午後八時病俄かにあつたまま
遂に逝去した同氏は二十六才
で縣議當選の榮を擔ひ三十才
早々にして代議士に進み衆議
院に二期の席を置いた少壯時
代の華やかさから縣農銀頭取
にも推された政治界に財界に
見事な經歷を履んだ其の晩年
に於て其だ振はざる境遇に臨
つたのを知り親友から氣の毒
がられてゐた行年六十五才

農 業 方 向

公定米價に就て (一)

本年に於ける米の需要供給状況を推測して見ます。此の秋の新米は内地、朝鮮共に非常な豊作であるといわれ内地は六千九百九十六萬石、朝鮮は千八百四十四萬石の收穫を想せらるゝのであります。之れは何れも前古未嘗有の大豊作と云はれました。昭和五年に次ぐ大豊作でありまして其の上昨年豊作から本米穀年度へ持越された米は九百萬石餘の大量に上り理想持越高を四百万石も超過する有様であります。米の供給は空前の大量に上り著しく需要を超過するものと想像される次第であります。斯様に米の非常時とも申すべき秋に當りまして政府は去る十一月一日から新たに實施せられた米穀統制法と云ふ法律の運用を根幹と致しまして、其の他、穀の貯蔵奨励、低利資金の融通等の方策を講じまして極力米穀の統制に努めて居る次第であります。此れ等の諸方策の内でも最も重要な公定米價について唯今から御話し申し上げます。

御承知の通り、米は全國民の約半数を占むる農家の最も重要な生産物であると同時に國民全体の食料として一日も欠くことの出来ないものであります。下れば農家にとつて非常な苦痛でありますし、反對に甚だしく上れば消費者にとつて苦痛となる譯であります。

そこで政府は一面農家の立場を考へまして、米の値段を或る限度以下に下げないことにすると共に、他面消費者の立場を考へて或る限度以上には上げない様にする制度を樹てたのであります。これが即ち公定米價による買入れまたは賣渡しの制度であります。

ガソリン
モビール油
石油 株式会社

特約販賣

油問屋 關内油店

支店 平 電話長 16



支店 平 電話長 16
支店 平 電話長 16
支店 平 電話長 16

印刷部
御承知の通り、米は全國民の約半数を占むる農家の最も重要な生産物であると同時に國民全体の食料として一日も欠くことの出来ないものであります。下れば農家にとつて非常な苦痛でありますし、反對に甚だしく上れば消費者にとつて苦痛となる譯であります。

防寒メリヤス

・専賣特許毛メリヤス。
防虫加工純毛メリヤス……三圓・三圓五十錢
防縮加工純毛メリヤス……二圓五十錢・三圓
防虫加工……夏季ノ保存ニナフタリン形膜
イラヌ絶対虫ノ喰ハヌ特許品
御無難ナオ洗濯ニモ絶対チ、
マラヌ特許純毛メリヤス製品
御婦人向、オ子サン向専用防寒メリヤス毛製品。

ツルヤ
平 四 電一四〇

産科 婦人科 長木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 支蕃彌一
平町新川町九一
入院隨意 木村病院
病室完備 電話一六四番



常磐モリス株式會社

福幸の主株
一、年四分の報償金を差上げます(他に利益配當)
一、一世帯式千圓迄御貸付致します(株券の倍額)
一、御株券不用の場合には證券會社でお引受致し
一、御貸付も返済も株主本意に御取扱致します
一、法律經濟の御相談は無料でお引受け致します
本店同様營業を開始いたしました
御利用下さい

内郷出張所
平湯出張所
内郷出張所
平湯出張所

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
院長 醫學士 高久忠

東神火災保險株式會社
警城代理店
河田鐵工場
河田梅吉
營業所 福島縣平町白銀町一
電話三二九番 二九五番
本社 東京市日本橋通り三丁目
仙臺支部 仙臺市大町三丁目

洋式宴會の仕出し
五人様以上の御注文にはボーイもソックも出張し
まして御店へ御來店御會食と何等變りなくサービ
ス致します
出前は迅速に
平常の一品料理の出前は遠近に拘はらず迅速に御
届け致します。ドーソ御最寄を……
美味で……イワキサロ
平町 電話三五二番

高久の酒
高久の酒
高久の酒

石炭 炭
コークス 炭
水野石炭店
平町郵便局通り
電話二九九番

債券公債 兩替 金融
多田井質店
平町大工町 電話五九二番

酒銘
酒銘
酒銘

入院應需
藤沼醫院
電話五〇七番
スペインG.H.N元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒 1・10
御婦人の方には少し水を加へて
召し上ると風味一そう佳良です
(平2) 西村屋藥舖 (電?)

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前 電六六九番